

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス すてっぷあっぷ		8年 6月 30日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を上回る活動スペースを確保し、利用者が安全かつ快適に過ごせる環境づくりに努めています。	今後も安全に過ごしやすい環境づくり努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		常時名（管理者1名、保育士1名、作業療法士1名、児童指導員2名）を配置しております。	利用状況に応じて適切な職員配置を継続します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スロープや手すりなど配置し、バリアフリーに配慮した環境を整備しております。	利用者の特性に応じて設備の点検や環境改善を継続して行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動に応じて机や椅子を配置し、活動しやすい環境づくりを行っています。	より過ごしやすい環境となるよう都度見直しを行っています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別に対応できるスペースを確保し、落ち着いて過ごせる環境を整えています。	利用児童の状況に応じて柔軟に対応します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な職員会議やミーティングを実施し、業務改善に向けた振り返りを行っています。	PDCAサイクルをより効果的に運用し、改善内容を全職員で共有していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者アンケートや日々の連絡を通じてご意見を伺い、サービス改善に活かしています。	保護者からより多くのご意見をいただけるよう、意見を発信しやすい環境づくりを進めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日のミーティングで支援内容や課題を共有し、職員間の共通理解を図っています。	非常勤職員を含めた情報共有をさらに充実させ、より円滑な連携を目指します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価について情報収集を行い、実施に向けた検討を進めています。	第三者評価の導入を今後の課題として検討し、客観的な評価を業務改善につなげます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所内研修や外部研修への参加を通じて、職員の専門性向上に努めています。	計画的な研修受講機会をさらに充実させ、支援力向上を図ります。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、公表しています。	利用者のニーズに応じて内容を継続的に見直し、より充実したプログラムづくりに努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にあセスメントを実施し、本人や保護者の意向を踏まえて支援計画を作成しています。	アセスメントの質を高め、多面的な視点から支援内容を検討していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画は関係職員で情報共有し、共通理解のもと作成しています。	多職種間の連携をさらに深め、より効果的な支援計画の作成に努めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画を職員間で共有し、統一した支援が行えるよう連携しています。	支援方法の統一を図るため、継続的な振り返りと情報共有を充実させます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントシート等を活用し、子どもの状況把握に努めています。	利用者の変化をより適切に把握できるよう、評価方法の見直しを行います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに基づき、利用者一人ひとりの状況に応じた支援内容を設定しています。	ガイドラインの内容を継続的に確認し、支援内容の充実を図ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容は職員間で話し合い、目的や配慮事項を共有した上で実施しています。	利用者の興味や発達段階を踏まえた活動内容をさらに充実させます。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節行事や新しい活動を取り入れ、活動内容が固定化しないよう工夫しています。	新たな活動プログラムを検討し、より幅広い経験ができる機会を増やします。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援と集団活動を組み合わせ、利用者の特性に応じた支援を実施しています。	活動内容のバランスを見直し、一人ひとりに適した支援の充実を図ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援前に打ち合わせを行い、役割分担や支援方法を確認しています。	職員間の連携をさらに強化し、支援の質の向上につなげます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後に振り返りを行い、気づきや改善点を共有しています。	振り返り内容を支援改善へより効果的に反映できる仕組みづくりを進めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を作成し、日々の支援状況や成果を記録しています。	記録内容を分析し、支援の質向上につなげる取り組みを充実させます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを実施し、必要に応じて支援計画を見直しています。	モニタリング結果をより効果的に活用し、支援内容の改善につなげます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		ガイドラインの基本活動を取り入れ、様々な活動を組み合わせ、支援しています。	利用者の興味や地域資源を活かした活動の充実を図ります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者が自ら選択できる機会を設け、自己決定を尊重した支援を行っています。	選択肢をさらに増やし、主体的に活動へ参加できる環境づくりを進めます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援専門員や関係機関との会議へ参加し、情報共有を行っています。	連携機会を増やし、より円滑な支援体制づくりを進めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療・学校・関係機関と情報共有を行い、連携した支援を実施しています。	必要に応じて連携方法を見直し、支援体制の強化を図ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有を行い、利用者の状況把握に努めています。	学校との連携方法をさらに充実させ、情報共有を円滑に進めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		担当者会議等へ参加し、関係機関との情報共有を行っています。	必要時には円滑な引継ぎに努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行元支援等と必要に応じて情報共有に努めています。	継続して積極的に参加します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修や地域の連絡会へ参加できるよう努めています。	必要に応じて参加機会を増やします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域交流について情報収集を行い、実施に向けて検討しています。	地域との交流機会を拡充できるよう検討を進めます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		職員研修や勉強会へ参加し、知識・技術の向上に努めています。	研修内容を支援へ反映していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳等を通して保護者と日々情報共有を行っています。	必要に応じて面談等も活用し、相互に相談しやすい関係づくりに努めます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援の必要に応じて助言や情報提供を行っています。	保護者支援の内容をさらに充実させます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、重要事項説明書や契約書等の説明を通じて、運営規定、支援内容、利用者負担等について説明しております。	分かりやすい説明に努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画作成時には本人・保護者の意向を確認し、支援へ反映しています。	利用者・保護者の思いをより丁寧に把握できるよう努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画の内容を説明し、保護者の同意を得た上で支援を行っています。	継続して丁寧な説明を行います。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの相談には迅速かつ丁寧に対応しています。	相談しやすい環境づくりを継続し、支援体制を充実させます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保護者からのご意見やご要望を把握しながら、交流の機会について情報収集や実施方法の検討を行っています。	交流会等の実施についてニーズを踏まえながら検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付体制を整備し、迅速かつ適切な対応に努めています。	苦情やご意見をサービス改善へより効果的に反映させます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページやSNS等を活用し、活動の様子を発信しています。	発信内容を充実させ、より分かりやすい情報提供を行います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報適切に管理し、情報保護を徹底しています。	職員への周知を継続し、管理体制を維持・強化します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者や保護者との意思疎通に配慮し、分かりやすい情報提供を心掛けています。	一人ひとりに応じた伝達方法をさらに工夫していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域での活動や施設見学など取り入れ、地域社会との関わりを持てる機会づくりに努めています。	地域へ開かれた事業所となるよう交流機会を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施しています。	マニュアル内容を定期的に見直し、実効性を高めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、防災・防犯訓練を計画的に実施しています。	訓練内容の充実と職員の理解向上を図ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前に健康状態や既往歴等を確認し、安全な支援に努めています。また必要に応じて医師の指示書に基づく対応を行っております。	情報更新を継続し、より適切な健康管理体制を整えます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	保護者へ聞き取りによるアレルギー情報や検査結果をいただき、職員間で共有しております。	利用者の健康状態やアレルギー情報を定期的に確認し、安全に支援を提供できる体制の維持・強化に努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全防災委員会を中心に、事故防止や安全対策に取り組んでいます。	安全管理体制を継続的に見直し、事故防止の強化に努めます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害時の対応等を契約時に保護者に説明し、文章でお渡ししております。	安全計画の内容継続的に見直し、安心して利用できるよう努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		日々の気づきをヒヤリハットとして記録・共有し、事故を未然に防ぐための改善策を職員間で検討しています。	事例の分析を充実させ、事故防止対策の強化につなげます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、定期的な研修を実施しています。	研修内容を充実させ、職員の意識向上を継続します。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化委員会を設置し、やむを得ず身体拘束を行う場合、利用者・保護者に事前に説明し、同意書をいただいております。	職員研修を継続し、身体拘束の適正化と権利擁護の推進に努めます。	